

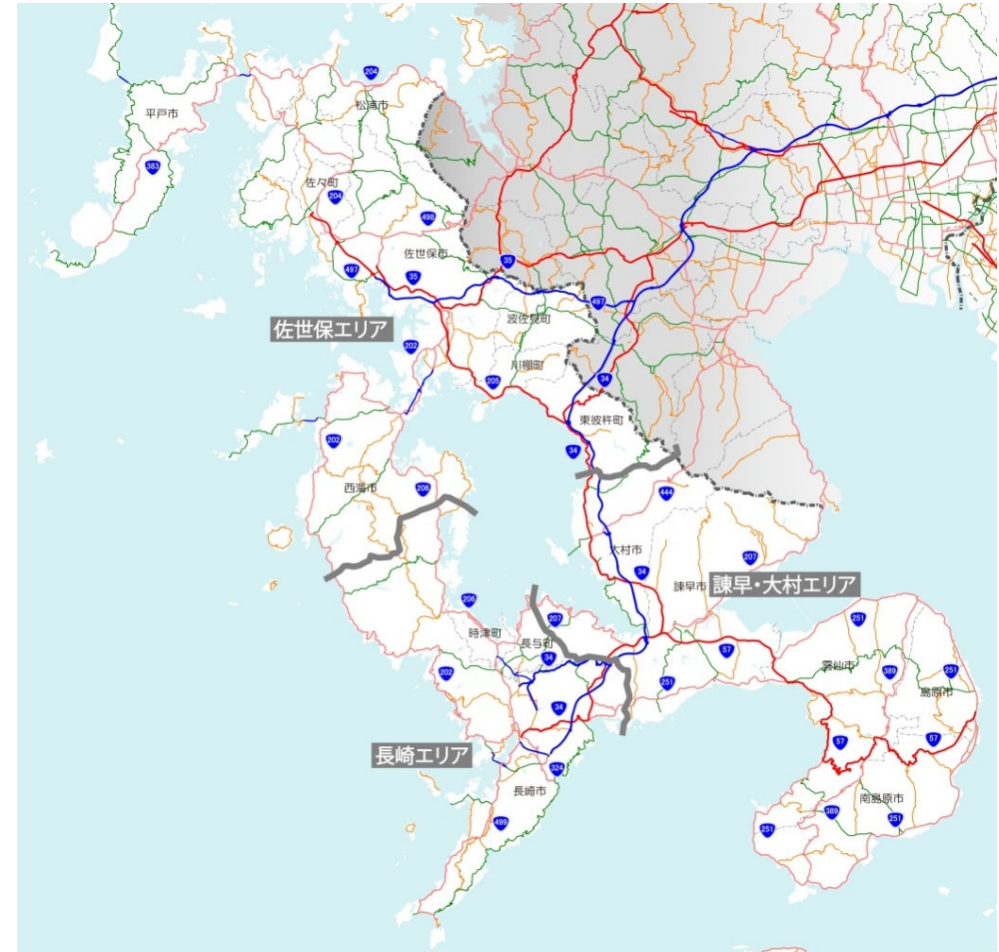
令和7年度第2回 長崎県交通渋滞対策協議会

本会議の目的

①佐世保大塔地区の渋滞対策確認

目次

1. 佐世保大塔地区における渋滞対策検討 ----- 1



令和8年3月11日(水)

1. 佐世保大塔地区における渋滞対策検討

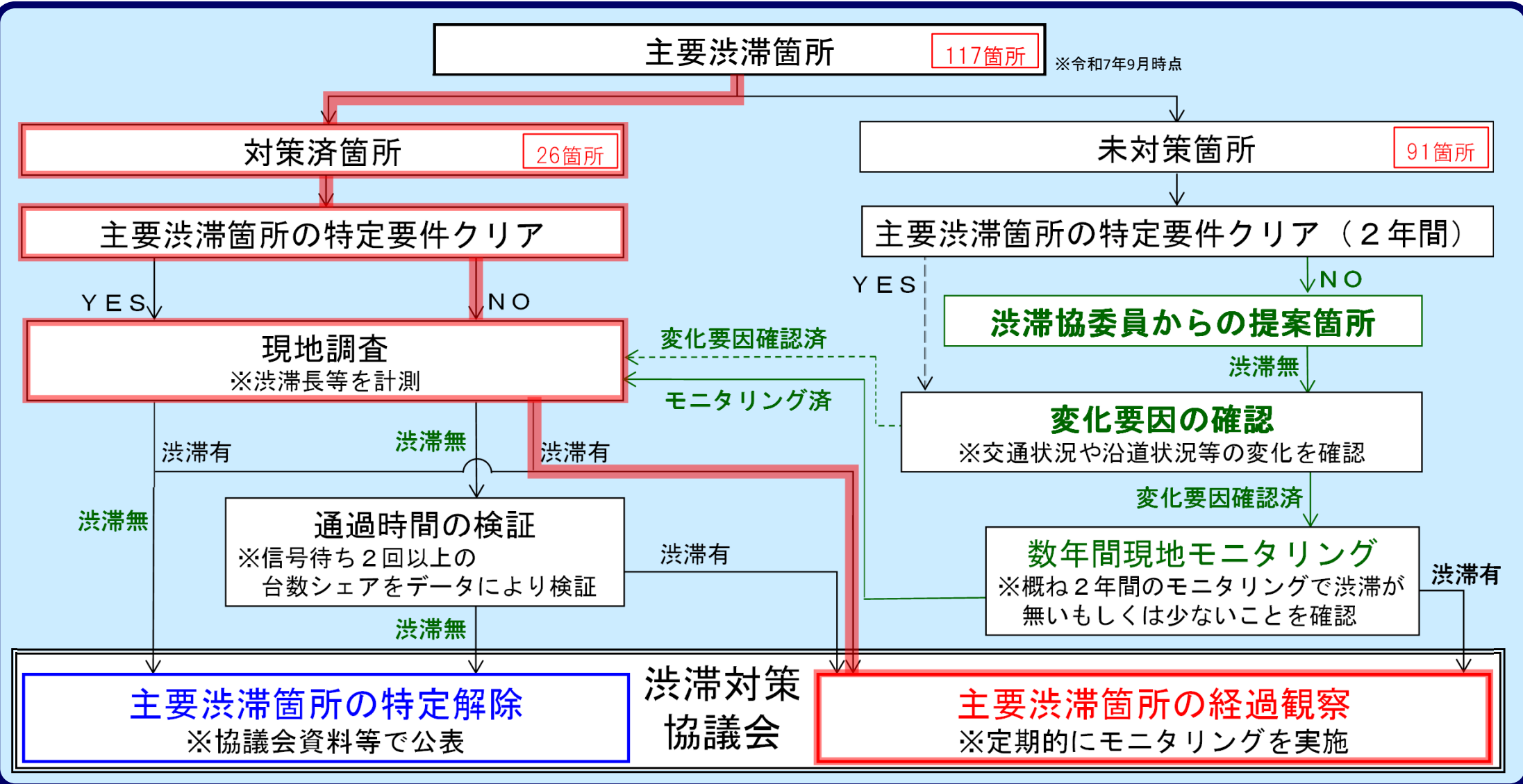
(1) 長崎県における渋滞の現状

- ・令和7年9月時点での長崎県内の主要渋滞箇所は117箇所である。
- ・大塔ロータリー交差点周辺の主要渋滞箇所解除フローにおける位置づけは、以下の通りであり、現在は経過観察中である。

▼主要渋滞箇所の特定要件のクリア条件

クリア条件	対象期間
対象期間における交差点の全方向の平均速度20km/h以上	平日 朝 (7時~9時)
	平日 夕 (17時~19時)
	休日 昼 (7時~19時)

▼主要渋滞箇所の解除フロー



1. 佐世保大塔地区における渋滞対策検討

(2) 佐世保大塔地区の位置図

- ・大塔ロータリー交差点は、長崎県佐世保市にある交差点であり、国道205号と西九州自動車道、市道大塔側道1号線が交差している。
- ・国道205号は隣接する「大塔IC入口交差点」から針尾バイパスを經由し、東彼杵町まで続いており、大塔ロータリー交差点周辺には、大塔IC入口交差点の他、西九州自動車道のオフランプとなる料金所出口交差点等、複数の交差点が存在している。



凡 例	
	一般国道(直轄)4車以上
	一般国道(直轄)2車
	一般国道(補助)
	一般県道
	市道
	鉄道(JR線)

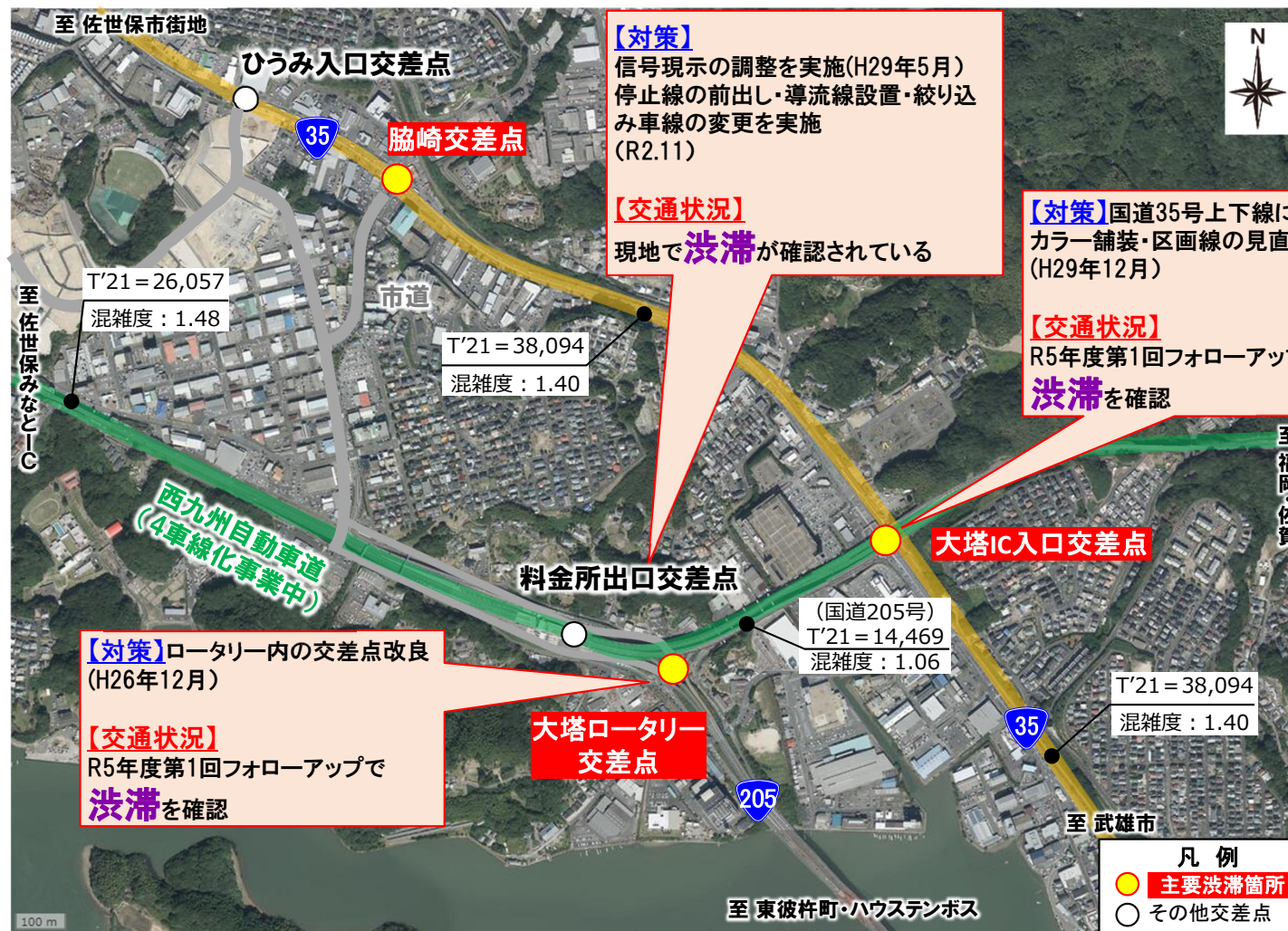
本検討対象交差点

1. 佐世保大塔地区における渋滞対策検討

(3)大塔ロータリー周辺の渋滞対策検討について

①これまでの渋滞対策検討経緯

- ・大塔ロータリー交差点及び周辺交差点では箇所毎に渋滞対策を実施してきたが、抜本的な解決には至っていない。
- ・今後は交差点単体ではなく、周辺路線や交差点を含む、広範囲での対策実施も視野に検討を進めることが求められる。



下図：地理院地図(電子国土web)

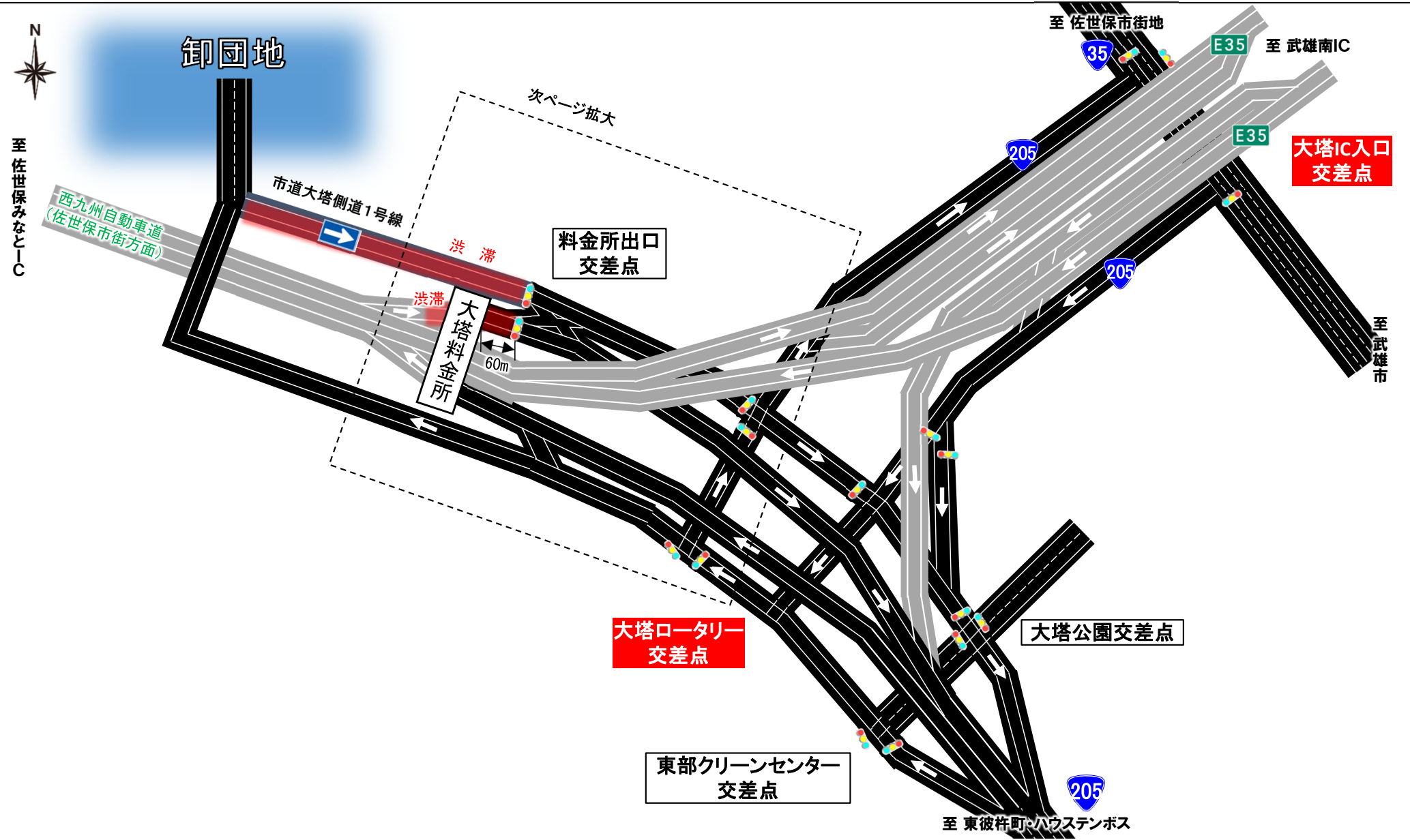
関係機関で協力し、面的な渋滞対策を検討

1. 佐世保大塔地区における渋滞対策検討

(3)大塔ロータリー周辺の渋滞対策検討について

②大塔ロータリー交差点周辺の構造

- ・大塔周辺では国道35号や国道205号、西九州自動車道が交差しており、道路構造が非常に複雑。
- ・特に大塔料金所オフランプと市道大塔側道1号線が交わる料金所出口交差点において、渋滞発生が常態化。

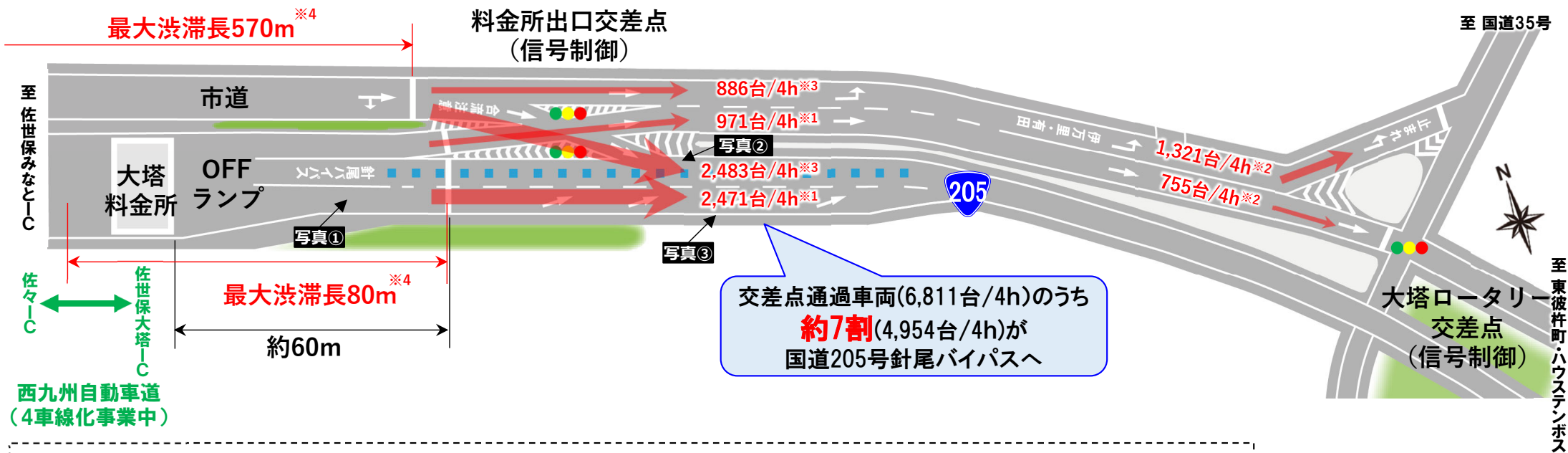


1. 佐世保大塔地区における渋滞対策検討

(3)大塔ロータリー周辺の渋滞対策検討について

③料金所出口交差点の交通状況

- ・混雑している料金所出口交差点付近の交通状況を詳細に確認したところ、西九州道料金所側及び市道側から流入した車両の約7割が国道205号針尾バイパスに向かっている。
- ・西九州道佐々IC～佐世保大塔IC区間は4車線化事業中であり、完成後はさらなる交通量増加が見込まれることから、料金所出口交差点における渋滞対策検討に活用するための交通状況調査をR6.6月に実施した。



【R2.11月対策内容】料金所出口交差点付近で「停止線の前出し」「導流線の設置」「絞り込み車線の変更」を実施。



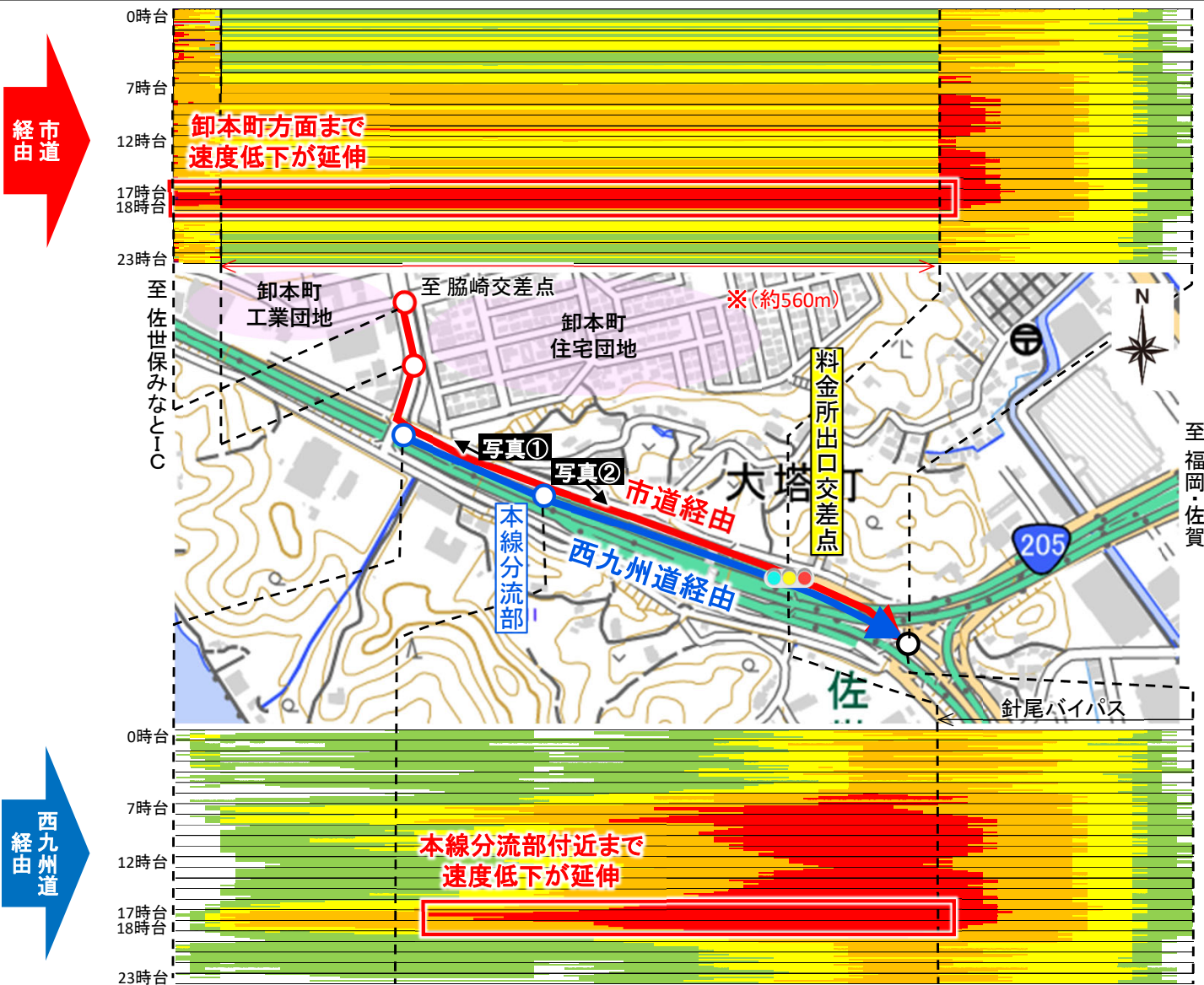
- ※1: 交通量は令和4年10月21日(金)の観測結果(15時～19時)
- ※2: 交通量は令和5年2月28日(火)の観測結果(15時～19時)
- ※3: 交通量は令和6年6月6日(木)の観測結果(15時～19時)
- ※4: 渋滞長は令和6年8月20日(火)の観測結果(16時～18時)

1. 佐世保大塔地区における渋滞対策検討

(3) 大塔ロータリー周辺の渋滞対策検討について

③ 料金所出口交差点の交通状況

- ・市道では夕ピーク時に、料金所出口交差点付近を先頭とした速度低下が卸本町方面まで延伸している。
- ・また、西九州道においても夕ピーク時に本線分流部付近まで速度低下が延伸している。
- ・現地確認でも市道では渋滞が発生しており、後続まで続いていることを確認。



※市道部該当区間は速度データがないため、車両毎に前後区間の通過時間差と距離差(約560m)から平均旅行速度を算出

【凡例】

■	-10km/h
■	10-20km/h
■	20-30km/h
■	30-40km/h
■	40-50km/h
□	50km/h-
■	データなし

【出典】
ETC2.0プローブデータ
R7.4~9月平日

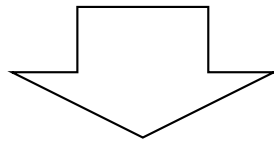
1. 佐世保大塔地区における渋滞対策検討

(3) 大塔ロータリー周辺の渋滞対策検討について

④ 渋滞対策検討

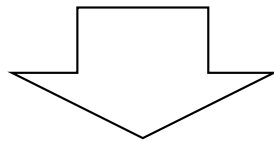
【大塔周辺の交通状況】

- ・幹線道路や西九州自動車道が交差し、道路構造が非常に複雑。
- ・特に大塔料金所オランプと市道大塔側道1号線が交わる**料金所出口交差点**で渋滞発生が常態化。



【R6年6月交通量調査結果】

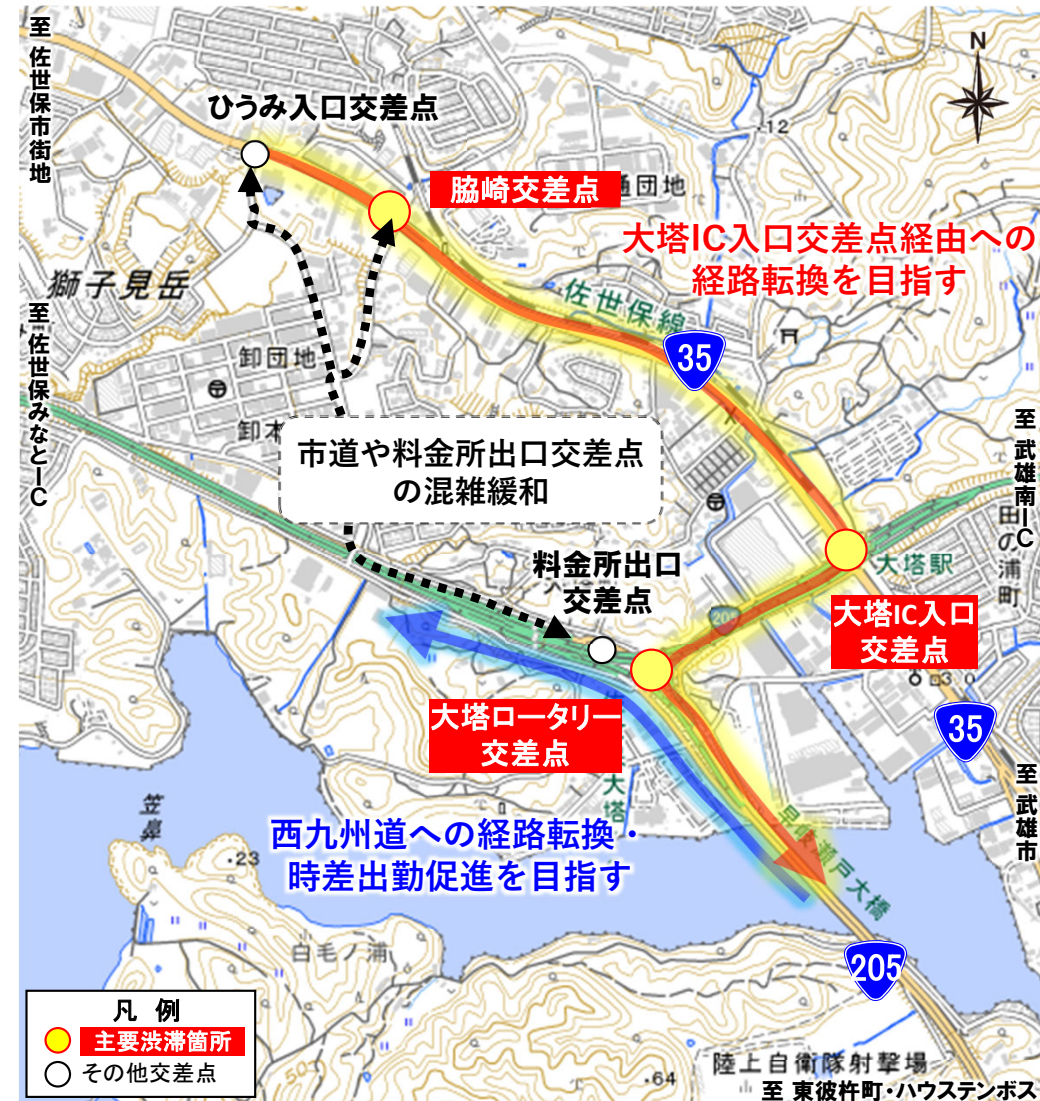
- ・料金所出口交差点通過車両の約2割が、国道35号⇒国道205号針尾バイパスに抜ける**通過交通**。
- ・国道205号針尾バイパス⇒大塔ロータリー交差点に流入する上り流入部を含む周辺交差点で朝夕を中心に渋滞が発生。



【今後の展開】

- ・市道の混雑軽減のため、**市道以外の経路へ交通を転換させる対策を検討**。
- ・朝ピークに発生している大塔ロータリー交差点の混雑軽減のため、大塔ロータリー交差点内を通過しない経路への転換、時差出勤施策を検討する。
- ・経路転換施策の検討では、周辺交差点の新たな交通増も想定されることから交通への影響も留意して検討する。

大塔周辺の渋滞対策イメージ



1. 佐世保大塔地区における渋滞対策検討

(3) 大塔ロータリー周辺の渋滞対策検討について

⑤ 渋滞対策検討(対策の進め方)

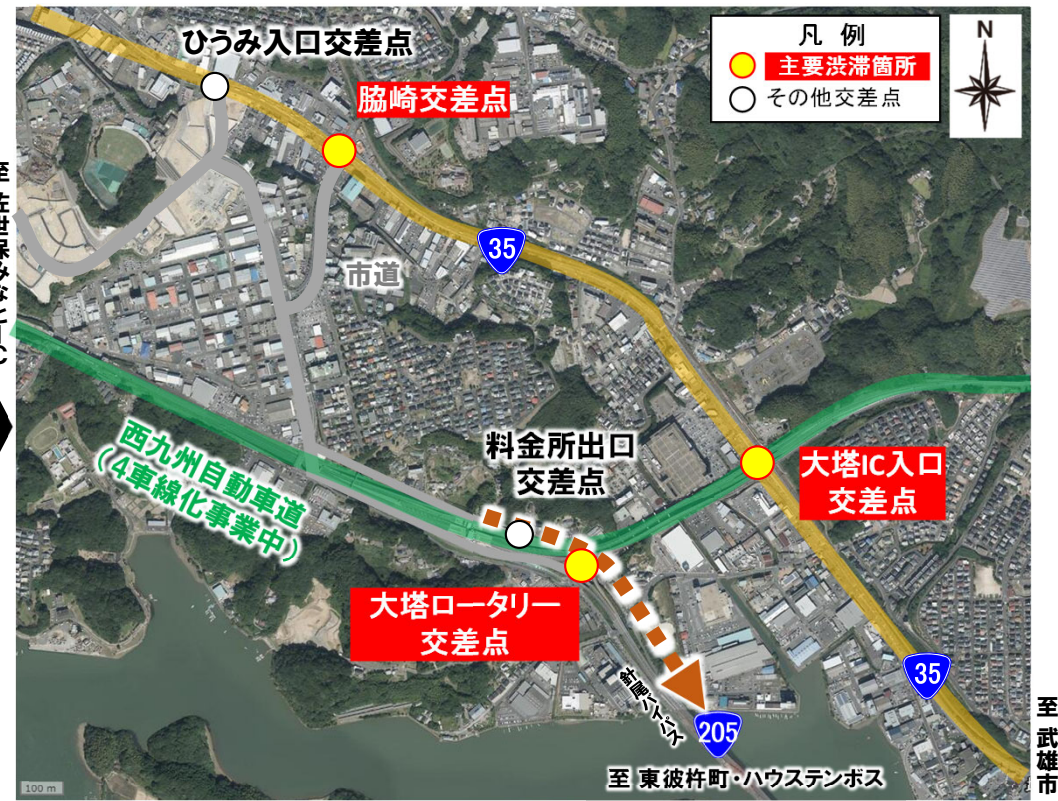
- ・大塔周辺の混雑対策として、市道の混雑緩和に向けて以下に記載する2つのステップに分けて検討を予定している。
- 【STEP1】 国道35号を経由して国道205号針尾バイパスへ向かう経路の円滑化を行い、本経路への転換を誘導する
- 【STEP2】 料金所出口交差点から国道205号針尾バイパスに向かう交通の円滑化

【STEP1】 国道35号経由への経路転換誘導

【STEP2】 料金所出口から針尾バイパスへの円滑化



下図: 地理院地図(電子国土web)



下図: 地理院地図(電子国土web)

1. 佐世保大塔地区における渋滞対策検討

(4) 対策案の詳細 STEP1 国道35号経由への経路転換誘導

- ・国道205号下り(大塔IC入口交差点⇒大塔ロータリー交差点間)は西九州道下りオフランプと平面交差するが、針尾バイパスに向かう高架部は西九州道下りオフランプ車両のみ利用可能であり、通過する交通量は約500台/12hと余裕がある。
- ・国道205号下りから針尾バイパスへ向かうには2つの信号交差点(大塔ロータリー・大塔公園)を通過する必要がある。

●国道205号下り・西九州道大塔オフランプ合流部について



至 佐世保みなとIC

下図: 地理院地図(電子国土web)

至 東彼杵町・ハウステンボス

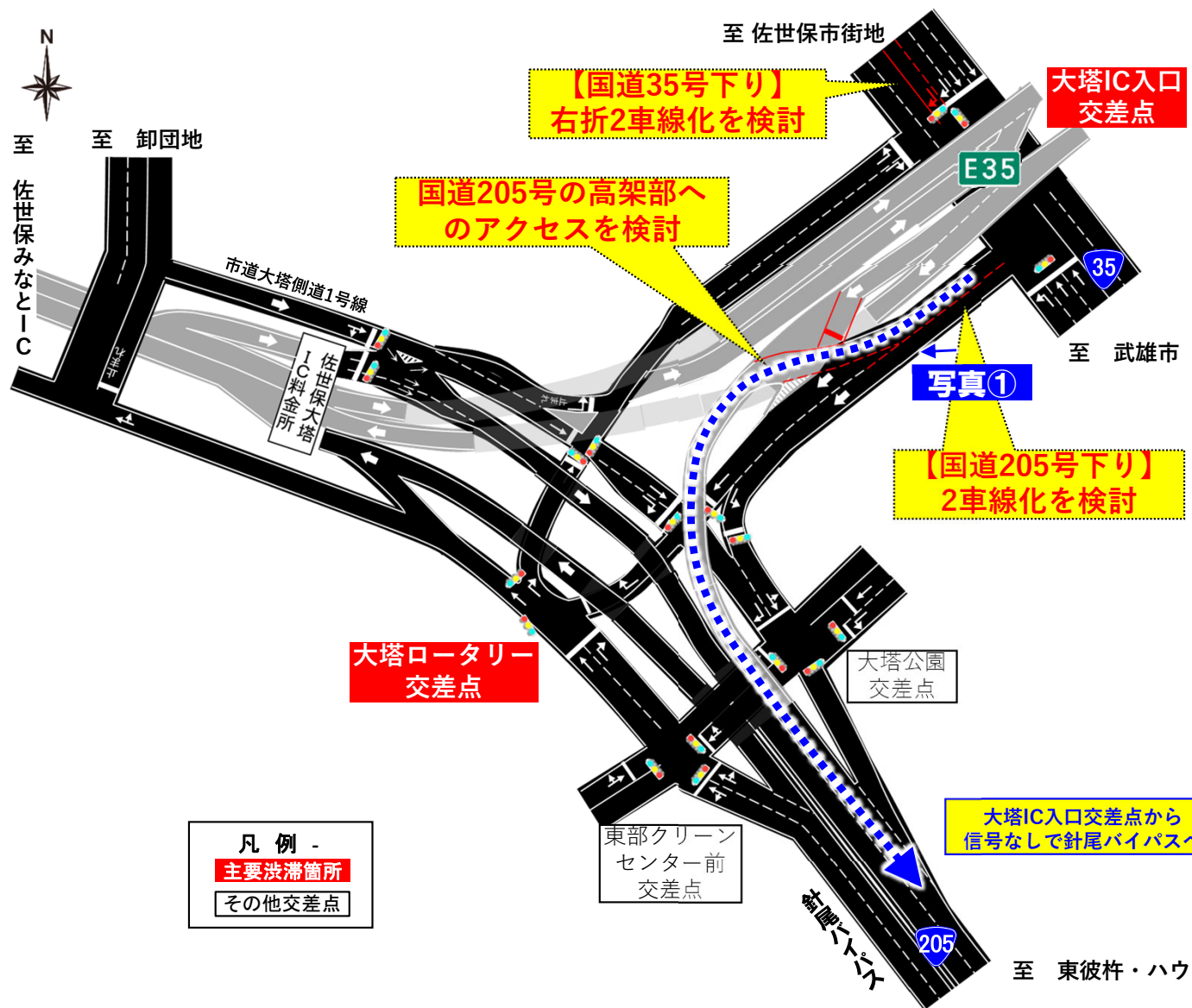


※交通量：令和6年6月6日(木)の観測結果(7時～19時)
 ※※交通量：令和5年7月4日(火)の観測結果(7時～19時)

6. 大塔ロータリー周辺渋滞対策検討

(4) 対策案の詳細 STEP1 国道35号経由への経路転換誘導

- ・本対策により、佐世保市街地から針尾バイパスに流入する車両を国道35号大塔IC入口交差点経由に転換させる。
- ・国道205号下り2車線化及び大塔IC入口交差点下りの右折2車線化を検討する。

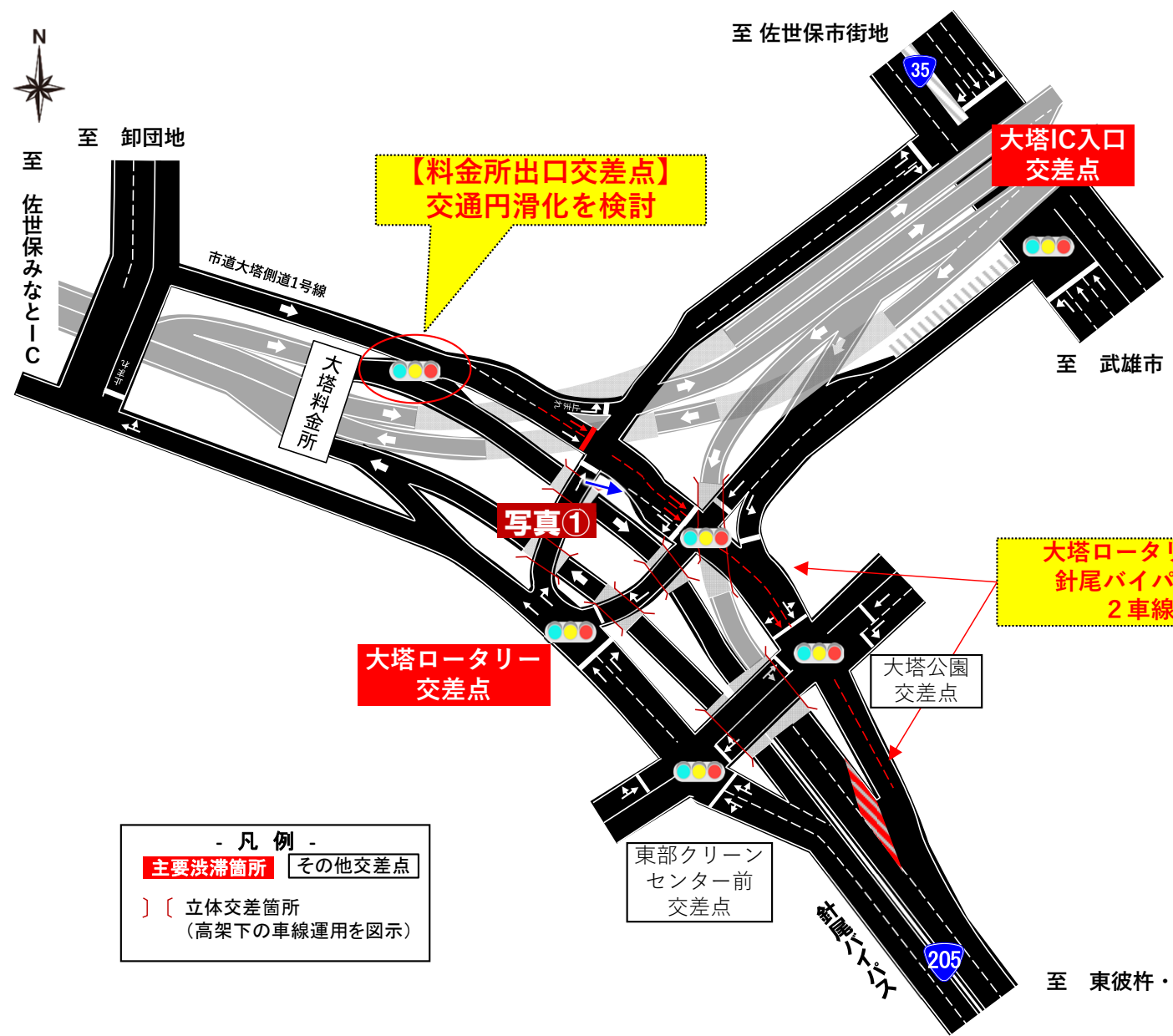


至 東彼杵・ハウステンボス

6. 大塔ロータリー周辺渋滞対策検討

(4) 対策案の詳細 STEP2 料金所出口から針尾バイパスへの円滑化(対策案①)

・大塔ロータリー交差点から針尾バイパスに向かう経路の2車線化を検討する。

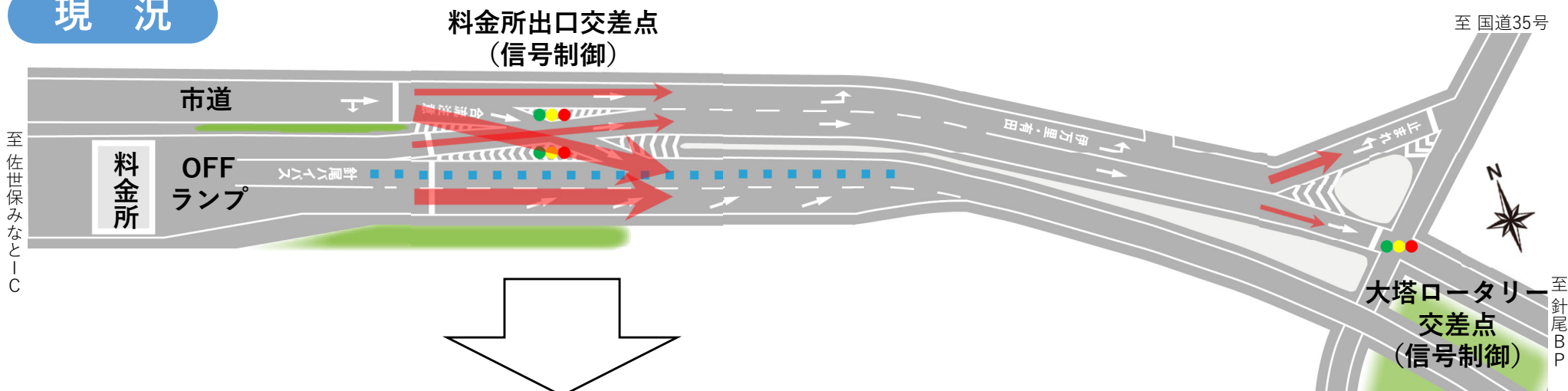


6. 大塔ロータリー周辺渋滞対策検討

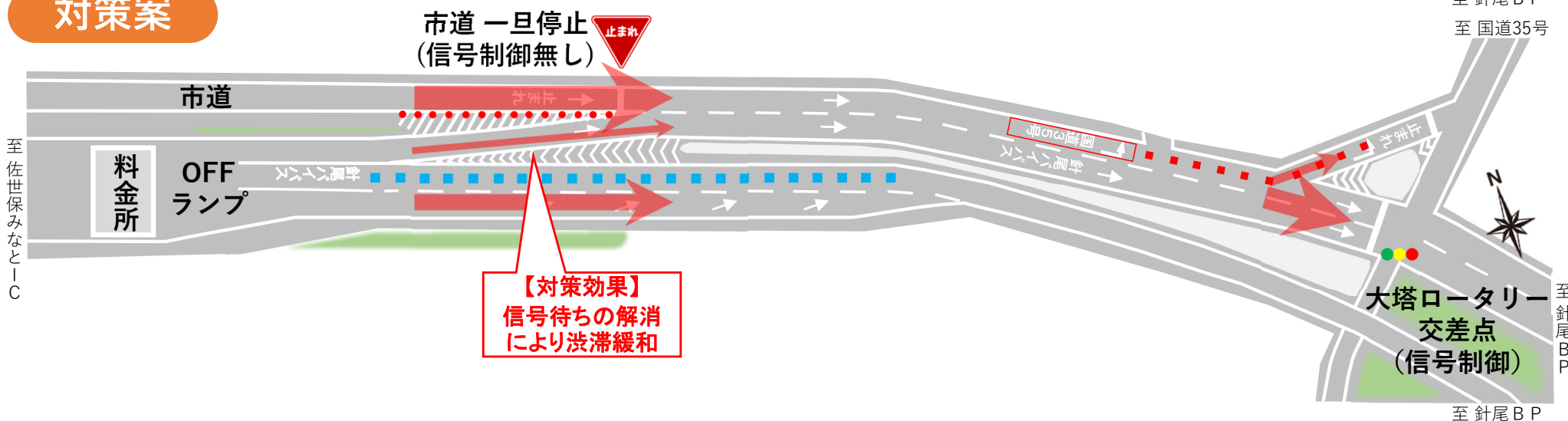
(4) 対策案の詳細 STEP2 料金所出口から針尾バイパスへの円滑化(対策案②)

・料金所出口交差点の信号制御を無くし、市道を一旦停止で運用することを検討する。

現況



対策案



1. 佐世保大塔地区における渋滞対策検討

(5) 対策案のまとめ

